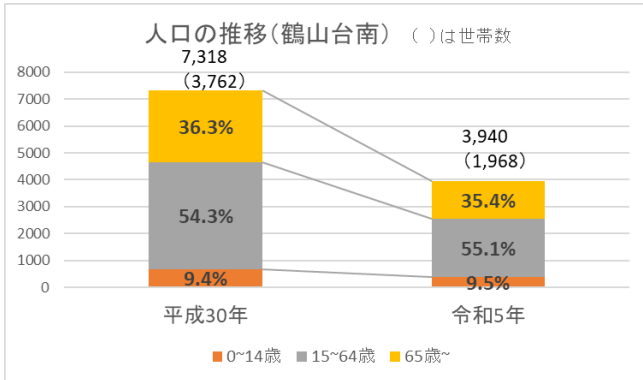


鶴山台南校区

地域別人口



基礎データ

組織・人的資源	町会自治会数	12
	校区社協役員数	26
	校区社協ボランティア数	56
	民生委員・児童委員数	10
	老人クラブ会員数	164
	いきいきいずみ体操数	2
	おたがいさまサポーター数	8
	高齢者見守り協力事業所数	4
	子ども食堂(子どもの居場所)数	0
対象者数	自主防災組織の有無	有
	ふれあい訪問利用者数	19
	誕生月訪問利用者数	261
	避難行動要支援者登録数	52

ふくしアンケート結果ランキング(抜粋)

こんなまちだといいな	
1.買物が便利なまち	
2.住民同士のまとまりや助け合いが多いまち	
3.みんなが集まれるイベントやお祭りがあるまち	
こんな場所があったらいいな	
一般住民	子ども(小学5年生/中学2年生)
1.高齢者の経験や強みを生かせる場所	1.思いっきり遊べる広い公園や広場
2.地域の誰もが参加できる地域食堂	2.雨の日でも遊べる場所
3.放課後に保護者が帰宅するまで、安全に子どもが過ごせる居場所	3.いろいろな遊び道具があって自由に遊べるしせつ
興味があるボランティア活動	
一般住民	子ども(小学5年生/中学2年生)
1.地域や世代を問わない誰もが食を通じて集える場づくり	1.年下の子どもの遊び相手をしたり面倒をみる
2.高齢者の地域での見守り訪問	2.自然や環境の保ご活動をする
3.子どもの居場所づくり	3.校区の清そう活動やリサイクル活動をする

地域での話し合い(ワークショップ)での意見

- ❖ 高齢化が進むなか、災害時でも支え合える関係を作るために、日頃からのつながり作りの大切さを改めて確認できた。だからこそ、地域の集い場の活動や交流を進め、地域の団体や住民の意見交換の場「協議の場」も継続して行っていこう。
- ❖ 地域の防災について、継続して考えるために、新たに防災のワーキングチームを作り、活動や協議を着実に進めていこう。

防災をテーマに皆がつながり、 安心安全なまちづくりを目指す

私たちの重点取り組み

重点取り組み①

【目 標】 防災に強いまちづくり

【具体的な取り組み】

- R6～7年度には第3住宅や中地区等の自主防災組織の訓練見学等を行い、R8年度には校区全体の避難訓練を行う
- 子どもから大人、若い世代も参加したくなるような防災の啓発や企画（小中学校との連携、防災倉庫の見学等）を検討する
- 各家庭での危機管理についての啓発や研修会等を積極的に行い、地域の集い場や個別の見守り活動の場でも啓発を行っていく

重点取り組み②

【目 標】 地域のつながりづくり

【具体的な取り組み】

- 子どもから大人まで、気軽に集え、話せる場を作る
- 地域活動や協議の場の内容についての広報の充実、紙媒体での啓発に加えて、SNS 等の活用も検討する
- 身近な場所でのつながり作りを通じて、災害時にも助け合いができる関係性を構築する

重点取り組み③

【目 的】 話し合いの場づくり

【具体的な取り組み】

- R6年度に、町会役員の代表、防災リーダー、有志ボランティア等が中心となり、「防災ワーキングチーム」を立ち上げ、校区の防災の取り組みを計画的に進める
- 目標に挙げた地域活動を計画的に進めるため、協議の場で話し合いを行う。協議の場では、防災ワーキングチームの動きの報告、共有も行う
- 男性が交流できるような新たな集い場作りを検討する

